



多文化共生時代の福祉を考える

# こころの家族

## No.355

2024年1・2月



真っ赤な獅子が観客席に近づくと歓声があがる（故郷の家の多文化フェスティバルで。6〜7ページに関連記事）

### 私の宝物

アフリカのアルベルト・シュヴァイツァー博士のもとで奉仕したいと願った日本女性がいた。

東京女子大学を卒業し、彼女は博士に手紙を書いた。そうしたら、英語ではなく仏語の勉強をするように、という言葉と、サイン入りの写真が送られて来た。

彼女は日本にとどまり、結婚して寺の坊主ぼうちゆうさんになった。晩年は「故郷の家・京都」に入所し、毎月70万円払う有料老人ホームよりここがいいと満足してくださった。そして、私にシュヴァイツァー博士のサイン入りの写真をくださった。私の宝物になった。

シュヴァイツァー博士には感動を与える色々な話があるが、1952年、ノーベル賞授賞式に出席する時のことだ。アフリカを出てスウェーデンに行く折にパリを経由した際、新聞記者たちが取材をしようと博士を探した。貴族ゆえ一等席と特等室を探したが、博士は見つからない。三等席に座ってここにいる人たちの診察をしていた。驚いた記者が「博士はどうして三等席に乗ったのですか？」と聞くと、シュヴァイツァー博士は「一等席や特等室の人々は私を必要としていません」と答えたという。

謙虚さは頭を下げるのではありません。心を低くするのは、相手を尊重し、相手の立場を理解しながら認めるのです。

かつて博士のもとで奉仕をしたと思った女性も、私に共に生きる素晴らしさを悟らせてくれました。共に生きることは、相手の考えも宗教も尊重する事だと。寺の坊主さんでありながら、クリスマスの時には私にプレゼントを送ってくれたのです。

社会福祉法人こころの家族  
尹基 (Tsuchi Motoi)

特集 1	木浦市民感謝碑除幕式を挙	2~4p
特集 2	多文化フェスティバル開催	6~7p

中島孝夫さんご逝去	5p
おたより紹介、韓国料理	5p
おんどう／故郷の家各施設から	8~9p
ちいさな芽／韓国木浦から	10p

姿を現した感謝碑のもとにみんな笑顔で集まった



## 田内千鶴子生誕111周年記念 木浦市民感謝碑除幕式を挙行



祝辞を述べる峯野牧師



淀橋教会聖歌隊

抜けるような青空に聖歌隊の歌声が響き渡った。11月1日、木浦共生園前の広場にて、田内千鶴子生誕111周年記念「ありがとう、木浦のみなさま」感謝碑除幕式が行われた。韓国孤児のオモコと称えられる田内千鶴子の偉業は木浦の人々の支えなくしてはあり得なかった。感謝碑はそんな思いが込められ、日韓交流のシンボルとして建立されたものだ。

の人々だった。峯野龍弘牧師(淀橋教会)は「木浦市民は尹鶴子(ユンハクチャル)田内千鶴子の韓国での名前)の愛を真正面から受け止め、尹鶴子の愛と木浦市民の愛がひとつになった。共生園はその象徴である」と祝辞を述べた。

こころの家族のルーツである児童養護施設共生園を夫の尹致浩とともに、尹致浩が消息不明になってからはひとりで支え、韓国の孤児3000人を育てた田内千鶴子。日韓両国の関係が険悪であったときも千鶴子を支え、1968年に千鶴子が亡くなったときには木浦市で初めての市民葬が営まれた。国境を超え、千鶴子を支えてくれたのは木浦

### 関連イベントも多彩に

10.31 ソウル シンポジウム「グローバル時代の日韓福祉協力方案」

除幕式の前日、10月31日にはソウルの国民日報ビルのコベンションホールでシンポジウム「グローバル時代の日韓福祉協力方案」が開催された。

基調講演「世界の韓人と社会福祉の役割」は韓国児童団体協議会会長で元国連大使・

呉俊(オジュン)氏が務めた。今は再び戦争の時代になり、気候変動、不平等の増大といった問題が世界を覆い、韓国国内においても急激な成長の一方で高齢化も急速に進む。この状況の中で福祉はどうあるべきかと問題提起。

国連世界孤児の日の趣旨に



上右=基調講演を務めた  
呉俊氏。

上左=討論に臨む各氏。  
左から市川一宏氏、中村  
秀一氏、座長の柳秀鉉  
(ユ・スヒョン) 前崇実  
大学校教授、柳愛貞氏。  
いずれもソウル・国民日  
報ビルにて

トワークづくりについて述べ  
つつ「韓国に教えてもらおうこ  
とがたくさんある」「いまは一  
国だけの社会福祉は成り立た  
ない」と述べた。

柳愛貞(ユ・エジョン)氏(韓  
国・国民健康保険公団統合ケ  
ア研究センター長)の発表は  
「韓日福祉、官民連携手法：  
超高齢化社会への対応を中心  
に」。韓国は2050年には  
平均寿命が世界で初めて90歳  
を超え、世界一になると予想  
されている。増大するケア  
ニーズに対応するために統合  
的・制度的運営基盤構築が求  
められているとする。

中村秀一氏(国際医療福祉  
大学大学院教授)は「戦後日  
本の福祉の経験から、日韓福  
祉、民間協力」と題して発  
表。「制度の狭間」、「従来の  
組織では対応困難な課題」等  
が顕在化している現在、これ  
らが今後の福祉の中心課題と  
なり、地域社会の力が問われ



も賛同している市川一宏氏  
(ルーテル学院大学名誉教授)  
は「日本におけるソーシャル  
ワーカーの今日的使命、日韓  
福祉協力増進を目指して」と  
題して発表。地域ケアネッ



尹基理事長



川端均大阪自彊館理事長

柳在文(ユ・ジェムン)  
牧師は、共生園と日韓  
の教会が連合して次の  
世代に十字架の精神で  
ある共生を実践し、世  
界平和の夢を持つとうと  
提案。

2022年秋に木浦で開催  
された第1回、2023年6  
月に大阪で開催された第2回  
に続き、第3回日韓キリス  
ト教コンベンションが11月1日の  
除幕式の後、木浦の新安ビーチ

ホテルで開催された。  
代表会長の権龍植(クワン  
・ヨンシク)牧師の歓迎の辞  
、この家族の尹基理事長の  
「共生のビジョン」に続き、主  
題発表が行われた。

### 11.1 木浦 第3回 日韓キリスト教コンベンション

ると指摘した。  
韓国にとつて日本は20年早  
く超高齢化社会に突入、それ  
を支える制度や法律の面で  
先行していると考えられてい  
る。討論では質問が相次ぎ、  
なごやかな中にも熱のこもつ  
たひとときが共有された。

朴ダニエル宣教師は韓国の  
教会と日本の教会の共生によ  
り世界宣教に献身することが  
できると語った。  
歓迎晩餐会では、共生園と  
は姉妹施設の関係をもち、故  
・吉村毅生理士長の代からこ  
ろの家族とも深い交流がある  
大阪自彊館の川端均理事長  
が挨拶を述べた。大阪自彊館  
は2023年、創立111周年  
を迎えた。

### 日韓教会交流も



藤森牧師(右)と通訳にあたった  
中村順徳氏(木浦第一教会で)

晩餐会のあと、日韓教会交  
流も行われた。聖門教会では  
峯野龍弘牧師が「最も大いな  
るものは愛」、木浦第一教会  
では藤森真人牧師(ニュー  
ジーランド大阪教会)が「天  
からのほしご」をテーマに説  
教を行い、心づくしの茶話会  
が持たれるなど、温かく迎え  
入れられた。

# 日韓が 音楽の共演

今回、シンポジウムやキリスト教コンベンションを盛り上げたのは日韓のさまざまなジャンルの音楽だった。除幕式のためにつくられた曲「感謝〈愛の詩〉」を歌い上げた淀橋教会聖歌隊はじめ、こころの家族とゆかりの深い人々が音楽を携え、ソウルで、木浦で、交流を繰り広げた。

障害のある人のアート活動や仕事づくりまでを支える「たんぼぼの家」は奈良県から参加。障害のある人が作った詩に

\*

メロディをつけた曲をギターの伴奏に乗せて歌った。

福岡県柳川市の社会福祉法人学正会との縁は、故・金納学氏が理事長であった70年代、共生園の水仙花合唱団初来日に際して同会が受け入れを表明したことからは始まる。同会は本格的な雅楽の演奏で知られており、「越殿楽」などが演奏されると大きな拍手が起った。

韓国からはおなじみの水仙歌合唱団（10ページにも記事）、木浦連合長老聖歌隊やグルトギ重唱団がコンベンションで、バイオリンリストのハン・スジン氏がシンポジウム交流会で独奏を披露した。



学正会



たんぼぼの家



ハン・スジン氏



木浦連合長老聖歌隊

## 「感謝〈愛の詩〉」

- 1 涙ぬぐわれ 喜びに変わる  
どんな悲しみも癒す 木浦の愛  
すべての罪を包みこむ 豊かな愛  
カムサハムニダ ありがとう
- 2 時代は変わり 人も変わる  
変わらないのは この木浦の愛  
国を越えて海を越え 変わらぬ愛  
カムサハムニダ ありがとう
- 3 慰め励まし 愛に満ちた街  
人を生かし 高める街  
愛と平和がもたらす 愛の都  
カムサハムニダ ありがとう
- 4 木浦に来たなら きっとわかる  
温かい人々の この愛  
真実と正義を 貫く愛  
カムサハムニダ ありがとう

## この歌が日韓の架け橋になれば

——「感謝〈愛の詩〉」を作曲した田中恵子さん



「感謝〈愛の詩〉」を作曲、また今回の除幕式や関連イベントで弾き語りを披露した田中恵子さんは神戸市在任のピアニストであり、作曲・編曲家。日

本フリーメソジスト教団明石上ノ丸教会で62年にわたって牧会をしてきた内貴八郎右衛門氏の長女。4歳からピアノを始め、中学時代から教会オルガン奏楽奉仕にあたってきた。現在は夫の勝利さんとともに音楽工房GRACE【K&K】を主宰する。

「作曲にあたっては、田内千鶴子さんの生涯をもう一度DVDなどで確認しました。韓国の5音階を使い、まず木浦の方に受け入れていただけるメロディを、そして、日本の私たちにも馴染みのあるようにと考えました。田内千鶴子さんが韓国と日本の架け橋になられたように、この歌もそのような役目を果たすことができたいと思います」と語る。



読者のみなさまからいただいたメッセージです。  
いつもありがとうございます。  
2024年も「こころの家族」をよろしくお願いたします。

\*共生福祉財団 95周年式典に尹大統領夫妻が出席、祝辞を述べられたそうで韓国民の心の中に尹鶴子女史が生き続けているからこそと思います。日韓両国の友好が今後ますます強まり深まりますよう祈ります。(奈良県・T様)

\*95周年おめでとうございます。尹大統領が共生園を訪問されたのですね。感動しています。朝日新聞夕刊(2023年11月8日)にも記事がありました。「愛はいつまでも残る」本当に、そのとおりです。ユダ21節。十主の平和。(韓国料理のコーナーに載っていた)長芋のキムチあえ、おいしいです。(京都府・T様)

\*いつも「こころの家族」を送ってくださり、ありがとうございます。今回も読ませていただき感動しました。京都の施設ができた頃、まだ私も少し若かった頃、数回ボランティアで伺い、利用者さんとふれあい、肩もみをさせていただいたこと、懐かしく思い出します。(長野県・M様)

\*毎号楽しみにしています。(兵庫県・K様)

\*寄付にネット利用が可能になって利便性がとても良くなりました。今、世界では人間の尊厳と命を踏みにじる出来事が相次いでいます。田内千鶴子さんがいたら、何を思われるだろうか。私達の責任の重大さを迫られているような気が致します。(千葉県・S様)



## 中島孝夫さんご逝去

和洋菓子の老舗「中島大祥堂」取締役会長の中島孝夫さんが20

23年10月25日、逝去されました。享年86歳。敬虔なクリスチャンで実業家でもあった中島会長は、約40年前からこの家族のルーツ・韓国木浦共生園に寄り添い、田内千鶴子110周年記念行事の一環である「日

韓親善キリスト教コンベンション」にも大きな支援をくださり、本誌351号のインタビューにもご登場いただきました。ご冥福をお祈りいたします。

## トングランテン ケンニプジョン 故郷の家・東京 管理栄養士 内藤 美幸



トングランテンとケンニプジョンはミョンジョル(名節)で人が集まる時

やおもてなし料理の一品としてよく登場します。冷めても美味しく、お弁当のおかずにも使われる家庭料理です。

### 材料 (各20個分)

豚ひき肉	150g
にんにく	4片
豆腐(お好みで)	400g
人参	小1個
にら	1束
たまねぎ	1個
しいたけ	1パック
塩	小1
胡椒	少々
小麦粉	大3
醤油	大1
卵	4個
にんにく	1片
塩	少々
エゴマ	20枚

### 作り方

- ①野菜はすべてみじん切りにし、適度に水分をふき取ったらボールに合わせます。
- ②豆腐は水抜きし、ひき肉はドリッ普をふき取ります。粘り気が出るまで肉をまぜ、Bを加えてさらに混ぜます。手でちぎった豆腐とAを加え、みじん切りにした野菜すべて混ぜて種を作ります。
- ③ピンポン玉くらいのサイズに丸めて平たく成形し、両面に小麦粉をまぶします。
- ④卵をザルで濾し、みじん切りにしたニンニクと塩少々を加えます(卵の臭いが気になる方はみりんかお酒を加えます)



#### <トングランテン>

①成形したタネを卵にくぐらせて、油を敷いたフライパンに並べ弱火でじっくり焼きます。 ※この時こげないように注意してください。

#### <ケンニプジョン>

- ①エゴマの葉に小麦粉をまぶし、片側半分にタネを乗せて伸ばします。タネを包むように葉を折り込み、両面に小麦粉をまぶします。
- ②①を卵にくぐらせて油を敷いたフライパンに並べ弱火でじっくり焼きます。 ※この時こげないように注意してください。

# 多文化フェスティバル開催

にぎやかに、華やかに

♪歌う

演奏

食べる!

右=たから保育園の園児たちが練習の成果を披露  
下=後列左から韓国、フィリピン、日本人の職員。マイクの前の5人はベトナム出身の職員(いずれも故郷の家・神戸で)



バインミーなどを販売(故郷の家・神戸で)



ハーマニカを演奏する井上清之さんは93歳。すばらしい演奏に拍手喝采(故郷の家で)

※今回、各施設で歌われた「故郷の家の歌」は、長年にわたって日韓友好に力を尽くし、晩年を故郷の家・京都で過ごした前田龍さんが作詞した歌。2011年12月のクリスマスコンサートでお披露目され、以来、折にふれ歌われてきた。作曲は金鉉玉(キム・ヒョンオック)さん。

**4カ国語で歌いました 故郷の家・神戸**  
故郷の家・神戸では11月18日に開催した。司会を担当したのは李尚哲さんとベトナム出身のグエン・ティ・トゥイさん。地元・たから保育園の

**中国獅子舞も大人気 故郷の家**  
堺の故郷の家では12月3日に開催。通算「第34回」になる。利用者さんと職員による「S・ブネ隊」のブネ楽器演奏と合唱。写真③やハーマニカ独奏が行われ、職員は全員で「故郷の家の歌」を歌った。成美高校の中国文化春曉倶楽部による獅子舞も披露され、

**今年はやります! 故郷の家・京都**  
毎年春にコリアジャパバンドイを開催してきた故郷の家・京都だが、昨年は5月に雲史ホールで開いたバザーに続き、8月に恒例の夏祭りを、ひさしぶりに地域の人やご家族も招いて開催したところ400〜500人もが集まって大盛況。手応えを感じた。2024年春の多文化フェスティバルが今から楽しみだ。

韓国はもちろん、ミャンマー、ベトナム、フィリピン、中国籍の職員や留学生が働いている故郷の家・東京。11月11日に開かれた多文化フェスティバルは職員たちの合唱。写真①や利用者さんのブネ楽器(音楽療法士ステブンネさん考案の誰でも演奏できる楽器)演奏のほか、カラオケやバザー、屋台が好評だった。中国の「水餃子」、ミャンマーの「モヒンガー」(ミャンマー風ラーメン。写真②)、ベトナムのチャーゾー(ベトナム風焼き春巻)が、それぞれの国出身職員たちによって出店された。  
職員たちの合唱は「故郷の家の歌」と童謡の「もみじ」。朝礼のときにみんなで練習したそう。

この企画を担当したのは理学療法士の紙谷洋亮さん。振り付けを考案して指導、歌詞の翻訳はそれぞれの国の職員たちと相談しながらまとめた。「単に訳すだけでなく、メロディに乗せやすいように整えないといけないのが難しかった」とのこと。また、勤務時間の関係で全員が集まる時間がなかなかとれず、全体練習は3回くらいしかできなかったそう。  
午後の第二部はキムチやチヂミ、バインミー(ベトナム風ホットドッグ。写真⑦)、ケサディーヤ(メキシコ風ピザ)の販売やバザーでにぎ

大盛り上がりだった。  
物産販売ではチヂミや今話題のコストコの再販が登場。写真④。施設で焼き上げた焼き芋。写真⑤は大人気で、あつという間に完売。あたたかいゼンゼいのサーブも。  
**ハーマニカ独奏も好評**  
ハーマニカ独奏を披露したのはご利用者の井上清之さん。写真⑥。  
井上さんは韓国の大邸(テグ)で生まれ育ち、現地で終戦を迎えた。15歳で帰国、和歌山県田辺市に移り住んだ。大学卒業後は鉄鋼販売の仕事に就き、定年後の72歳で近所の人からハーマニカの集いに誘われたことから熱中。気の合う仲間とハーマニカを楽しみ、昨年5月に故郷の家に入所後も継続している。「川の流れるように」「千の風になって」など3曲を演奏。ハーマニカの旋律が聴いている人たちの心に響いた。



物産販売も人気上々(故郷の家で)

新型コロナが5類に移行して少しずつ日常が戻りつつある中、11月〜12月には故郷の家各施設で多文化フェスティバルが開催された。年に一度の感謝の集いとして地域の人やご家族も招き、「コリアンデー」という名で始まったこのイベント。その後「コリア・ジャパンデー」と名を変え、2020年からは「多文化フェスティバル」として発足する…予定だったが、コロナ禍で行事全般が思うように実施できない状況が続いていた。今回は4年ぶり、そしてはじめて、「多文化フェスティバル」として開催することができた。若干の制限付きではあるが、ほぼコロナ禍前の状態に近い。  
この間に外国人職員も増え、文字通り「多文化」の時代にふさわしい行事になった。記念すべき「初めての多文化フェスティバル」の様子をご紹介します!



水餃子、モヒンガー 屋台に登場 故郷の家・東京



ミャンマー出身の職員はミャンマーの国民食といわれる「モヒンガー」の屋台を出店。民族衣装がすてきた。(故郷の家・東京で)



ブネ楽器は各施設で音楽療法として取り入れられている。故郷の家のS・ブネ隊はおそろいの白いブラウス姿で日頃の練習の成果を披露した。

# おどる

堺・大阪・神戸・京都・東京

「故郷の家」各施設のホットな話題をお伝えします

※各施設のブログもご覧ください。QRコードからどうぞ！

## ハーモニカ演奏会

11月24日午後、韓国釜山より、「和音情」の11名様が4年ぶりに故郷の家・京都に來られ、入居者様の前で、ハーモニカ、ギターの演奏で心温まる交流をしてくださいました。

韓国や日本の歌を次々に演奏していただき、入居者様も一緒に歌ったり、手拍子されたりと大いに盛り上がりました。入居者様からは「とても良かった」「ありがとう」「また来てね」などの声が聞かれました。



## 地域のお祭りに参加

11月3日(金)の文化の日に地域のお祭りである「東九条マダン」に入居者様・職員で参加しました。毎年11月に行われる「東九条マダン」(韓国・朝鮮人と日本人が一つに集い、民族文化を発信、表現するおまつり)は、コロナ禍で縮小や飲食の販売禁

止などを経て、今年ほぼ制限なしで盛大に開催されました。

故郷の家・京都からも出店を行い、チャプチェと水、衣類の販売を行いました。チャプチェ、水は完売。11月でしたが、夏日だったため、水がよく売れました。数十名の入居者様も参加し、プログラム観覧や飲食を楽しみました。

参加した入居者からは「暑かったけど、楽しかった」「もつとお店をいろいろ見たかったなあ」「買いたかったものが買えてよかった」などの声が聞かれました。来年度以降も毎年開催される予定なので、地域の中の施設、地域の一員として、積極的に行事に参加し、楽しく交流を図っていきたいです。

京都



堺



## ミニミニ大運動会で大盛り上がり！

### 賛美礼拝ボランティア

堺では11月より、ボランティアさんの訪問が再開されました。

毎週火曜日に来ていただいていた、泉北キリスト恵み教会の賛美礼拝も再開され、久しぶりのボランティアさんたちの訪問に利用者さんもうれしそう。

熱心に牧師さんのお話に聞き入っておられました。



小春日和の秋の午後、1階ホールで「ミニミニ大運動会」を開催いたしました。カラフルな万国旗が揺れるホールへ、行進曲に合わせてご利用者様が入場、選手宣誓され、まずはラジオ体操で身体をほぐし、その後紅白に分かれて玉入れや特製砲丸投げ、お菓子取り競争の競技に参加いただきました。応援合戦も大盛り上がりで、表彰式では満面の笑顔でメダルと表彰状を受け取っていただきました。皆さん元気にご参加いただき「楽しかったよ！」と喜んでくださり、にぎやかでなごやかな秋の一日が過ぎました。

## 紅葉狩り日和

紅葉狩りに行ってきました！ とても寒い日が続きましたが、お天気がものすごくよく、太陽が皆さんと降り注いでくれておりました。木々は完全に赤く、黄色く色づき、落ち葉となつて公園一面に、枯葉の絨毯を作っていました。



この1週間は、絶好の紅葉巡り日和だったと感じました。利用者の皆さんも一様に、「気持ちいいねえ、気持ちいい」とおっしゃっていました。

## おいしいコーヒーで至福の時間



地域交流の一環として、「WELCOME COFFEE TIME」というのが始まりました。千葉教会の金明均牧師が、ボランティアで皆さんに、無料のコーヒーを淹れて下さるプログラムです。

コーヒーを通して、「みんなを幸せにしたい」という金さんの精神に、参加された皆さんは至福の時間を過ごしました。



東京



神戸



## 「ふれあい喫茶」が楽しみ！

故郷の家・神戸では毎月第3日曜日にご利用者様から大好評の「ふれあい喫茶」を開催しています。

シルバーカレッジサランの会の皆様より、飲み物とケーキをご用意して頂いています。

始まる前より楽しみにされている方が多く、順番に1階へご案内すると、サランの会の皆様が優しく声をかけて下さり、ご利用者様も素敵な笑顔で応えられます。

ゆっくりと穏やかな雰囲気甘いケーキと飲み物を交互に召し上がり、「おいしかったよ」「良かったよ」「楽しみの一つよ」と喜ばれています。



## 社交ダンス始めました！

神戸デイでは社交ダンスの先生をご紹介頂き、レクリエーションで社交ダンスを始めました。

若いころ踊っていた方がとても多く、「昔は毎日ダンスホールに行っていたんだよ」「ルンバ踊ったら私の右に出る人おらんからね」など皆様始まる前からとても楽しみにされていました。

いざ始めると「みんな見ているから恥ずかしいわ」とか「足が動かないから」とおっしゃってなかなか前に出て踊ってくれる方が少なかったのですが職員が誘い前に出て踊ると「足違う！こうやるねん」「わしが教えたろ」と踊ったことの無い職員にご利用者様が丁寧に教えて下さいました。今では、ご利用者様、職員ともに社交ダンスをとても楽しみにしています。



## ■ 共生園（養護施設） 意義深い日

2023年11月1日、田内千鶴子生誕111周年の記念行事に日本や韓国から200名余りの皆様が訪れました。日韓キリスト教コンベンションでは共生園の水仙花合唱団が歓迎の気持ちや喜びを分かち合いながら歌いました。

日韓両国の友好が子どもたちにとって未来に希望を抱く力となり、継続的な日韓交流が子どもたちの夢を育てる架け橋となることを願っています。



## ■ 共生再活院（知的障害者施設） 2023 森林福祉サービス「五感体験」活動

準備体操で楽しく体をほぐしてから、アートボックスとヒノキ枕づくりにワクワクしながらチャレンジしました。

ごこちないながらも、講師の説明を聞いて木板の模様に合わせて金づちを打ち、アートボックスが完成しました。

ヒノキで作った小さな球を枕の中に入れ、枕カバーをつけて自分だけのオリジナル枕も作りました。枕をしてその場に横になるとヒノキの香りが心地よく、森にいるような気分になったそうです。

## ■ 木浦障害者療養院（重度障害者施設） フラワーアート教室

「The 가치( 価値 ) Flower」という町の素敵な花屋さんが利用者のために無料でフラワーアート教室を開いてくれています。月に一度お店を訪れ、フラワーアーティストの社長さんに教えてもらいながら、とてもきれいな作品づくりを体験します。

名前も知らなかった花や苔などいろんな植物を使い、いろんな材料で装飾やラッピングもするのですが、利用者さんたちの器用な手つきやセンスに驚かされ、作品の美しさにも驚くそうです。貴重な機会をプレゼントしてくださるお花屋さんに感謝いたします。



### 木浦共生園及び木浦市民感謝碑建立へのご支援に感謝申し上げます

河正雄	株式会社ケイワン建物	小松美知枝	田内基	株式会社フェドラ
大阪自彊館 川端均	金達範	左藤浩子	田内文枝	裏和彦
学正会 金納理一	五井史子	佐藤美津子	田内緑	武山商事株式会社
金基周	こころの家族	鈴木仁	高岡國士	宮原智文
金春植	故郷の家	株式会社	高原幸男	株式会社ワイ・ジェイ・ビー
金明弘 (株) 成学社	故郷の家・京都	ジーヴァエナジー	東京観光興業株式会社	柳川博一
金政弘	故郷の家・神戸	杉浩二	早川泰史	淀橋協会聖歌隊
金知多子	故郷の家・東京	宋基泰	韓賢澤	ヤングスチール株式会社
桑尾裕子	小松譲治	大韓老人会京都支部	藤原一臣	李花祚

(あいうえお順)

# 皆様のご支援に感謝申し上げます

2023年10月～2023年11月 寄付合計 5,780,638円

堺	664,044円	京都	495,115円
大阪	1,500円	東京	667,600円
神戸	289,007円	法人	3,663,372円

## 2023年10月～2023年11月の寄付者（敬称略）

佐藤 友美 杉 浩二 田中 伸枝 ながやま 齒科 永山 成大 故郷の家・神戸募金箱 安井 麻子 匿名希望者 藤井 優子 四宮 章夫 神戸シルバーカレッジ 英語クラブ 李 善恵 河本 濟泓 韓国富川市高齢者長期養護施設協会 多胡 元喜 佐藤 美津子 小林 四郎 松下 令子 佐藤 幸男 李 守陳 中村 啓子 藤田 裕之 星田 正雄 金 慶光 ベン株式会社 金氏高麗人参株式会社	金山 委智夫 (有)テラヲ貨物店 栗原 彬 田内 基 田内 文枝 田内 緑 (株)スポーツ寿苑 代表取締役 鄭 貞子 (株)NEXT 吉田 喜代子 韓国大邱南区議会 東九条マダン 瀧澤 織衣 柳川 良子 張 宏司 枝川 愛の教会 尹鶴子共生財団 神田 尋美 株式会社ヤマエン タープライズ 代表 取締役 池 正淑 「ハートサービス運動」募金箱 観寺 伊津美 川島 順子 吉澤 まゆみ 大韓老人会日本連合会 京都支部支部会長	梅田 巧 藤原 興 松田 洋子 レデンプトリスチン 修道院 上石 孝雄、上石 史子 青木 茂 岡 真由美 飯野 毅與志 オートプロ島田 島田 隆男 鈴木 仁 山本 大 菅野 俊美 (株)グローバル 川島 忠義 金 元永 黄 イスル 吉朝 つぎえ 田代 貞子 在日本大韓民国東京本部婦人会顧問 金 英淑 東京韓国YMCA代表理事 徐 鍾煥 齋藤 雅子 木下 文隆 塩川一丁目町会	潮見一・二丁目町会 町会長 大山 基旭 柏木 雅枝 五井 史子 故郷の家・東京職員一同 野田 隆徳 河 英子 株式会社ケイワン 建物 代表取締役 金 達範 平本 善一 韓国老人長期療養機関協会 藤原 一臣 宗教法人純心聖母会 桑山 敬己 多田出 佳代子 河内 恒男、河内 宣子 小嵐 佐美子 長崎レデンプトリスチン修道院 埼玉・コリア21 小川 満、小川 厚子 光州大学 社会福祉学部生 財団法人江原ランド 社会貢献財団	安封 秀子 東九条空の下写真展 実行委員会 朴 実 金 基周 小林 孝志 西銀座法律事務所 坂入 高雄 真野婦人会会長 後井 美代子 真野ふれあいのまち づくり協議会委員長 尼子 正子 朴 永権 瀬戸 昭 金 善喜 井上 多美子 辻 寛 岩本 文枝 福井 規公子 浅野 和子 宮原 智文 和音情 故郷の家・京都募金箱 峯岸 義則 高林 實結樹 増山 律子 東信中学校
--	---	--	--	--

お詫び  
前号のこのページで誤りがありました。寄付者のお名前を誤って「柳川博」と掲載してしまいました。正しくは「柳川博」様です。関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。お詫びとともに訂正させていただきます。

## 2023年10月～2023年11月の寄贈者（敬称略。すべての方のお名前を記しているわけではありません。ご了承ください）

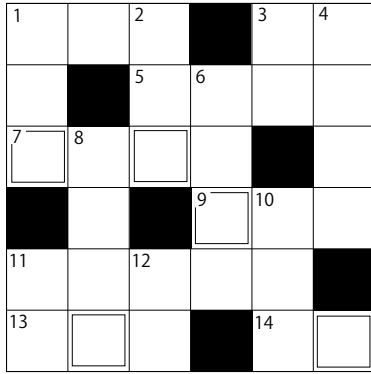
<b>■故郷の家(堺)</b> 北村 喜久子ご家族 池田 啓順ご家族 武吉 文子ご家族 高木 英宏ご家族 張李 瑞貞ご家族 服部 國彦ご家族 山田 徳次ご家族 宮崎 泰ご家族 赤羽 隆雄ご家族 小路 ヒサエご家族 佐々木 アイ子ご家族 加藤 憲司ご家族 中野 和夫ご家族 田中 キノエご家族 村井 徹ご家族 着本 アサ子ご家族 森 繁雄ご家族	半田 和子ご家族 大仲 玲子ご家族 大井 敏子ご家族 鈴木 恵子ご家族 柳生 民枝ご家族 阿部 厚子様ご家族 あゆみ介護センター 永山齒科 永山成大 金石 栄子 三宅 英雄 エンゾゲム 小田 ヒターナ サンアサヒ 島村 美代子 金 元永 Hwang I Seoul	<b>■故郷の家・神戸</b> 朝山 勝英 佐藤 信子 京都宣教教会 姜 讚馨 播磨 けい子ご家族 伊藤 可寿子ご家族 関西ノート (株) 牙山 連伊子 村上 順子 松永 紀元ご家族 井川 タカ子 金本 一夫ご家族 片岡 東洋子 上野 勉ご家族 田上 文子ご家族 柴 行之ご家族 鳥居 美智子 金本 松次ご家族	浅野 和子 嶺山 廣慶ご家族 ファーストリネンサービス (株) <b>■故郷の家・京都</b> 田中 泰一ご家族 京都宣教教会 東原 三郎ご家族 シティライフサービス 辻 一夫ご家族 金 宝熙ご知人 南 高順ご家族 梅林 禮子ご家族 山内 エミ子ご家族 赤井 美和子ご家族 西澤 達子ご家族 田花 安子ご家族	河本 秀子ご家族 野田 頼子ご家族 大川 君子ご家族 池下 幸美ご家族 森山 栄子ご家族 春山 美都子ご家族 松本 花子ご家族 木村 文子ご家族 松本 浪子ご家族 吉永 節子ご家族 的場 みちご家族 丸山 謙吉ご家族 <b>■故郷の家・東京</b> 内山 悦子 佐野 良一 田代 かねご家族 嶋田 誠子ご家族	佐藤 那可子ご家族 唯根 ヒロ子ご家族 細川 敏子ご家族 石倉 洋子 福島 雅子ご家族 石井 郁朗 水上 洋一郎 本岡 亜美 木下 良子ご家族 瀧澤 トミ子ご家族 東洋大学 総合情報学部 (株)ヤマエンタープライズ 代表取締役 池 正淑 (株)Y&Y 代表 山下 靖典
--	---	--	---	--	--

## 2023年10月～2023年11月の来訪者・ボランティア(敬称略)

<b>■故郷の家(堺)</b> 松本 光恵 小田 ヒターナ <b>■故郷の家・神戸</b> サランの会 関 京子	大藪 共基 戸田 和子 今堀 美子 山崎 和美 <b>■故郷の家・京都</b> 東九条マダン 多数	和音情 11名 「東九条音楽祭プレイイベント」 原野尚起、古川葵 「歌の会」 姜錫子、柳水香 傾聴ボランティア	京都PANA-ALC 3名 SKY傾聴ボランティアサークル1名 「懐メロ聴くの会」 <b>■故郷の家・東京</b> ポスコジャパン(株)	26名 韓国青年商工会15名 枝川愛の教会 10名 東京東部教会 2名 お茶の水ノブントット教会 10名 佐藤 美津子	中島 榮美 山本 朝子 村上 里子 金 美一 金 明均 金 在眞
---	--	--	--	--	---

# ◆ クロスワードパズル ◆

※前回の答えは「スポーツの秋」でした。  
 二重マスの文字を組み合わせて  
 できる言葉を答えてください。  
**【ヒント】今年は…**



- ↓ **タテのカギ**
- ① AIとは「人工——」のこと。
  - ② 幅が広い、または大きいこと。英語で。
  - ③ 木の一種。櫛を作るのに使われる。
  - ④ 石油などの液体を輸送するための船。
  - ⑥ 約500万年前に誕生したといわれています。
  - ⑧ 大豆を発酵させてつくります。
  - ⑩ 上下に分かれた水着。
  - ⑪ 回転するものとしなくてもあります。
  - ⑫ 無理やり連れ去ること。

## → ヨコのカギ

- ① おでんの具にも。
- ③ 甲子園球場といえば、この植物。
- ⑤ 「——」の少子化対策。
- ⑦ 土用の丑の日に、ぜひ。
- ⑨ 宝石の一種。
- ⑪ 労働者の権利の一つです。
- ⑬ 他人に対する行為や態度。「なんてひどい——！」
- ⑭ 東 ←→ ——

## ◆ プレゼント ◆



正解者の中から3名さまに、アルフォンス・ミュシャの絵画があしらわれた一筆箋をプレゼント。

応募は、クロスワードパズルの答、住所・氏名・電話番号をお書きのうえ、はがきなら〒590-0142 堺市南区榎尾3360-12「故郷の家・クイズ係」へ、メールでの応募はnews@kokorono.or.jpへどうぞ。2月10日締め切り。

本誌をお読みになった感想、メッセージなどもどうぞお書き添えください。お待ちしております！

お気軽に  
お問い合わせ  
ください。

故郷の家のご利用相談や  
寄付。困っている高齢者、  
留学生、外国籍の方も

- **故郷の家（堺）** 巽耕作（施設長）  
大阪府堺市南区榎尾3360-12 TEL 072-271-0881  
ブログ <http://kokyosakai.blog40.fc2.com/>
- **故郷の家・大阪** 田中久美子（主任ケアマネ）  
大阪府大阪市生野区中川2-4-26 TEL 06-6753-6580  
ブログ <http://kokyoosaka.blog79.fc2.com/>
- **故郷の家・神戸** 松下良平（施設長）  
兵庫県神戸市長田区東尻池町7-4-21 TEL 078-651-1555  
ブログ <http://kokyokobe.blog40.fc2.com/>

- **故郷の家・京都** 藤原一臣（特養施設長）、金滋榮（ケアハウス施設長）  
京都府京都市南区東九条南松ノ木町47 TEL 075-691-4448  
ブログ <http://kokyokiyoto.blog41.fc2.com/>
- **故郷の家・東京** 朴正米（特養施設長）、塩川優子（ケアハウス施設長）  
東京都江東区塩浜1-4-48 TEL 03-3644-0555  
ブログ <http://kokyotokyo5.blog.fc2.com/>

**本法人は統一教会とは関係ありません**

## 共に希望に生きる

人は、誰しも懐かしい思い出に満ちたふるさとをもっている。ふるさとは、生まれ育った所であると同時に「帰る」所であろう。人生の喜びと悲しみ、栄光と重荷を背負って帰り着くところがふるさとであれば、なんと素晴らしいことではないか。そこでは、経験を分かち合い、共に希望をもって生きることができる。  
 （阿部志郎・神奈川県立保健福祉大学名誉学長）

## こころの家族のサポーターになってください

- A) 愛の寄付金 …………… 自由な金額
- B) 賛助会員 …………… 月 1,000 円（年 1 万 2 千円）
- C) 奨学金会員（留学生や孤児・障害児支援） …… 月 5,000 円（年 6 万円）
- D) 1%会員（所得、売上、祝儀、遺産、感謝）
- E) 1坪会員（施設の新築・改築や環境改善支援） …… 30 万円

## ご送金の方法

- 郵便振替 □座番号：00940-0-329280  
加入者名：社会福祉法人こころの家族
- 銀行振込 銀行名：三菱UFJ銀行  
支店名：光明池支店 普通 1052623  
口座名義：社会福祉法人こころの家族

## 寄付申込書

年 月 日

\*この申込書を FAX でお送りいただく下記施設まで郵送をお願いします。

**FAX 072-271-5474 または 03-3644-0556**

ふりがな  
お名前

連絡先 〒

TEL

(自宅・会社)

FAX

ご寄付内容 ※具体的な支援先や事業名があれば、口数や金額とともに記入してください。

- 例1：●(B・賛助会員)として(2)口、(年2万4千)円を寄付します。
- 例2：●(E・1坪会員・堺)として(1)口、(35万)円を寄付します。

●( )として( )口、( )円を寄付します。

